PMS-1782(18033)

施工説明書

マルチシンク用レバー水栓

LF-T404X型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

1. 施工の前に

安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注 意 …「取扱を誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

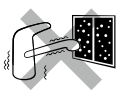
⚠ …「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

（禁止）…「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

（分解禁止）…「分解してはいけません！」

（指示）…「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注 意

（分解禁止）	**修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。** ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
（禁止）	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
（禁止）	**水道水及び飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。** ※商品の内部腐食により、漏水の原因となります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。	
（指示）	**お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。** ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

本製品の仕様と使用条件

使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)
使用環境温度	−20〜40℃（但し、内部の水を凍結させないでください。）
給水給湯接続	G1/2
圧 力 条 件	0.05MPa(流動圧)〜0.75MPa(静水圧)
取 付 条 件	水栓取付穴：$\phi 36^{+2}_{-1}$mm、カウンター厚：5〜30mm

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

その他の条件

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.20MPa程度に減圧してください。

施工前のご注意

取付けに必要な工具類

●取付けにはプラスドライバー、スパナ(対辺8)が必要です。

止水栓を設けてください

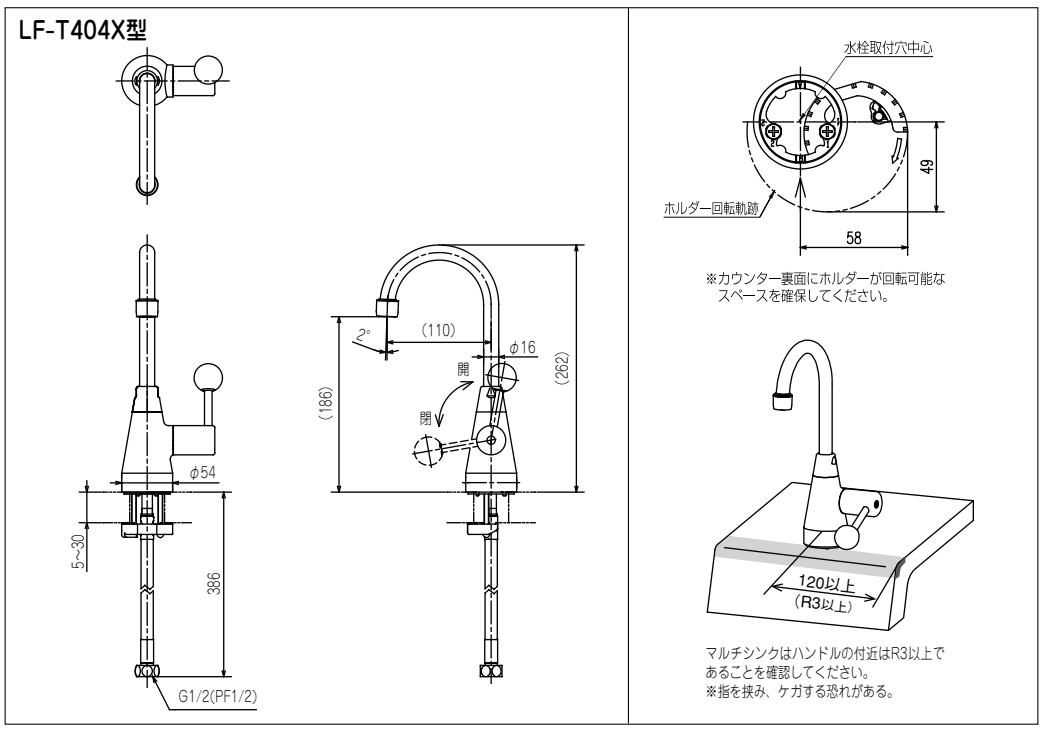
●取付後の流量調節及び保守点検のために、必ず止水栓（別売）を設けてください。
●使い勝手や性能発揮のために **流量調節をしてください。** 特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

その他の注意点

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。
●必ず **配管中の異物を完全に洗い流してください。**

施工完了図

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

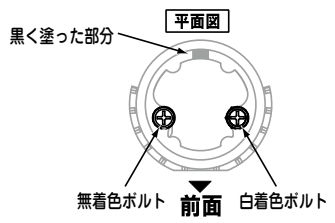


※陶器や、裏面がケイ酸カルシウム板に取り付ける場合は、(A−3811)を別途手配してください。

2. 施工方法

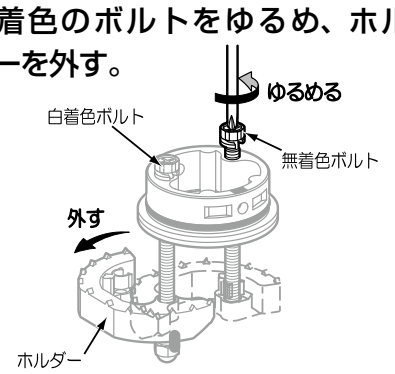
以下の手順通り、正しく取り付けてください。

① 上部施工金具の取付け

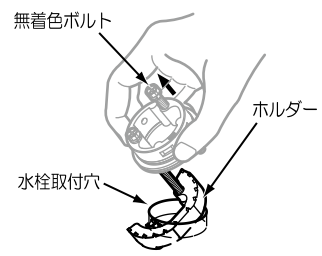


⚠ 注 意
上部施工金具は向きに注意して、正しく取り付けてください。
※正しく取り付けないと、水栓本体の固定強度が低下するなど、不具合の原因になります。

1. 無着色のボルトをゆるめ、ホルダーを外す。

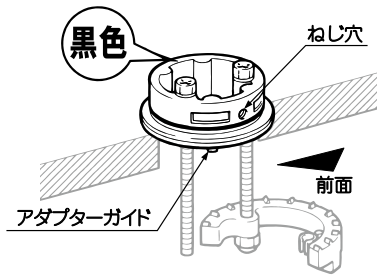


2. ホルダーを水栓取付穴に挿入する。



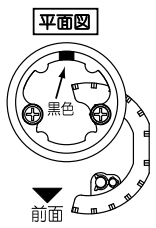
ポイント
無着色ボルトは引っかからないように少し引っぱり上げておく。

3. アダプターの黒く塗った部分が後方に向くように位置決めをする。

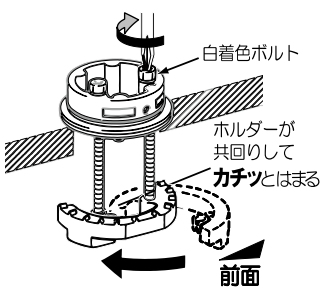


確 認

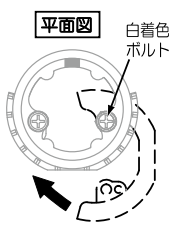
4本のガイドが取付穴に確実に入っていること。



4. アダプターを手で押さえ、白着色ボルトを1〜2回転締める。



⚠ 注 意
ゆっくり回してください。
※高速回転はしないでください。正しく施工できなくなる恐れがあります。

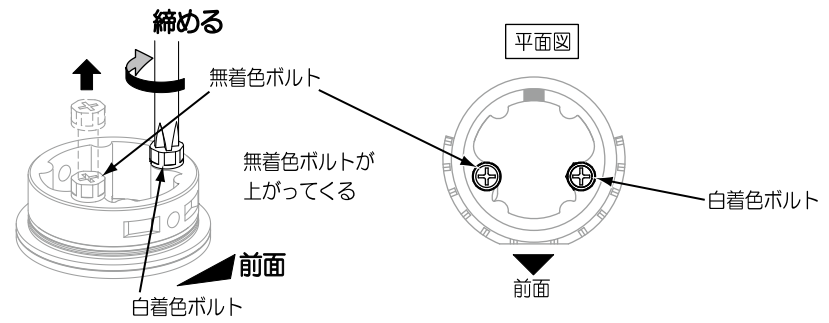


株式会社 LIXIL

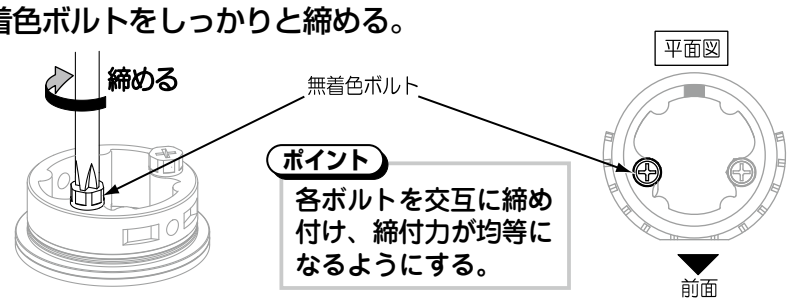
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル **TEL 0570-017-173**

受付時間　平日　9:00〜18:00
土日・祝日　9:00〜17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

5. アダプターを手で押さえ、白着色ボルトをしっかりと締める。

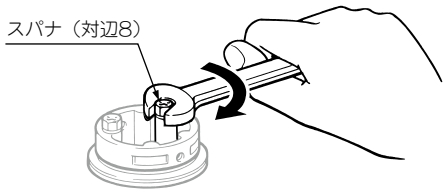


6. 無着色ボルトをしっかりと締める。



ポイント
各ボルトを交互に締め付け、締付力が均等になるようにする。

7. スパナでそれぞれのボルトを約１／２回程度締める。

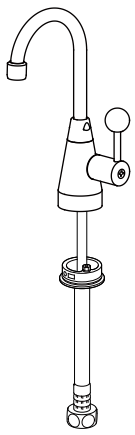


注意 締め付けすぎないでください。

確 認
アダプターのぐらつきがないこと。

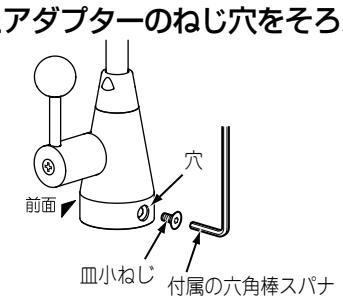
② 水栓本体の取付け

1. 水栓本体をアダプターに挿入する。

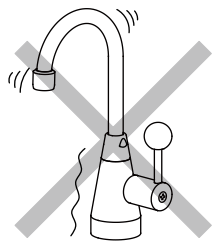


2. 水栓本体を固定する。

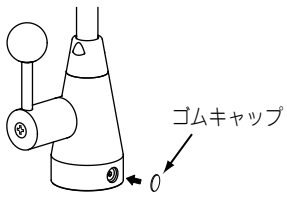
①水栓本体とアダプターのねじ穴をそろえて、皿小ねじでしっかりと固定する。



確 認
水栓本体にぐらつきがないこと。

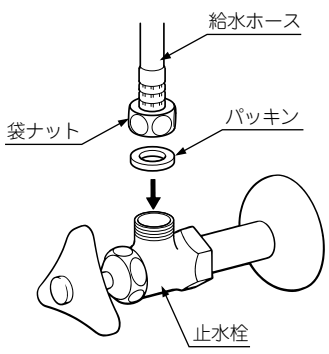


②ゴムキャップをはめる。



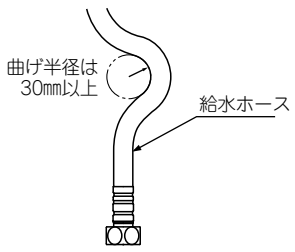
③ 給水ホースと止水栓の接続

給水ホースを止水栓に固定する。



注意
- ●パッキンの紛失に注意してください。
  ※漏水の原因になります。
- ●袋ナットは強く締め付けすぎないでください。
  ※ホースがねじれて損傷し、漏水の原因になります。

注意
- ●ホースを曲げる場合は、曲げ半径30mm以上確保してください。
  ※漏水の原因になります。

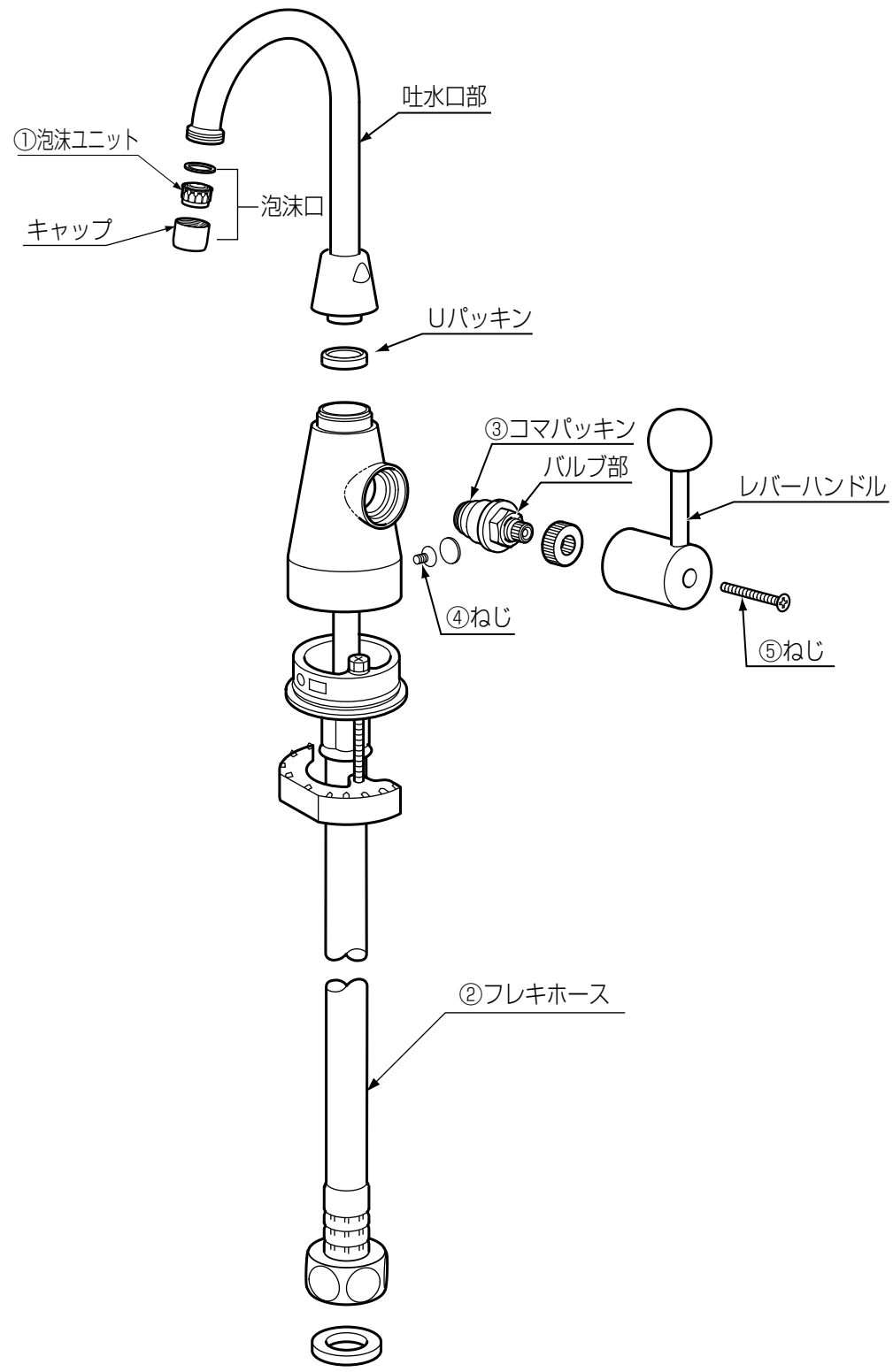


3. 施工後の調節

流量の調節

レバーハンドルを全開にしたとき、吐水口からの泡沫がシンクに当たって飛散しないように、止水栓で流量を調節してください。

4. 引渡前の確認

引渡し前および、故障時の点検は以下の要領で行ってください。

現　象	点 検 内 容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？	―	「仕様と条件」の項参照。
	止水栓は十分開いているか？	―	止水栓を十分開く。
	泡沫ユニットにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	フレキホースが折れ曲がったり、ねじれたりしていないか？	②	ホースの折れ曲がり、ねじれがあれば取り除く。
流量が多い	止水栓は調節されているか？	―	「流量調節」の項参照。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	③	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	③	キズがあれば部品を交換する。
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	④	ねじをしっかりと締める。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	⑤	ねじをしっかりと締める。